

## 会議名

令和6年度 第1回 釧路市社会教育施設等運営審議会

## 開催日時及び場所

令和6年6月6日（木）10時～11時

釧路市生涯学習センター 8階 801会議室

## 主な議題

### 1 審議事項

- (1) 2023（令和5）年度主要事業報告及び利用状況について
- (2) 2024（令和6）年度主要事業計画について
- (3) 生涯学習部所管施設における指定管理者の選定について

## 結果

議題1（2）について質疑及び提言あり

## 発言要旨

### 1 議事に対する質疑

委員：各施設における事業実施状況や利用状況について、コロナ禍前後で比較した際に何か特徴的な変化はあったか。

事務局等：事業の実施状況について、コロナ禍中は人と密着するような活動や飲食を伴うような活動は控えていたが、現在はコロナ禍前の状態に戻して事業を実施している。  
利用状況について、コロナ禍前の状況に戻りきってはいないものの、現在は施設利用に関する制限等も設けておらず、クルーズ船の寄港等も復活していることから、今後利用が増えることを期待している。

委員：団体の会合で交流プラザさいわいを利用した際、利用料金が普段利用している施設と異なっているように感じた。そのあたりはどうなっているのか。

事務局等：施設によって料金体系が異なっている状況である。

委員：料金体系はそれぞれの施設が各自で設定できるのか。

事務局等：施設の目的・用途や建てられた際の経過等もあり、現在の料金体系が継続されている。

委員：阿寒町公民館には今年度 Wi-Fi が整備されるとのことだが、他の施設の整備状況はどうなっているのか。

事務局等：ほとんどの施設で Wi-Fi は整備されており、未整備は阿寒と音別の施設だけという状況。阿寒については今年度整備予定だが、音別については来年度予算以降、予算要求していきたいと考えている。

## 2 議事に関する提言

委員：施設の利用状況は恐らくコロナ禍前の状況には戻らないと思う。人口減少が進む中でコロナ禍前に戻すというのは至難の業であり、特に中高生は商業施設等に集まって勉強をしていると聞く。もう少し小中高生が過ごしやすい施設等が街なかであれば、小中高生も街なかに来てくれるのではと考えることもあるが、若い子たちの意見を聴く場や機会を設けてあげることが、こどもまんなか社会の実現や、新しい社会教育施設の在り方等を探るきっかけになるのではないだろうか。

事務局等：人口減少のことを思えば、ご指摘のとおりコロナ禍前の利用状況に戻せるかは何とも言い難いが、一方でコロナ禍前よりも利用が伸びている市有施設もある。毎年同じような事業を繰り返すだけではなく、市民が来たくなる色々な仕掛けが今後は必要と考えている。

また、子どもの意見を聴く機会をつくることは社会教育の中でも非常に重要視されている。色々な場面で小中高生の意見を取り上げられるような機会を見出していけたらと考えている。